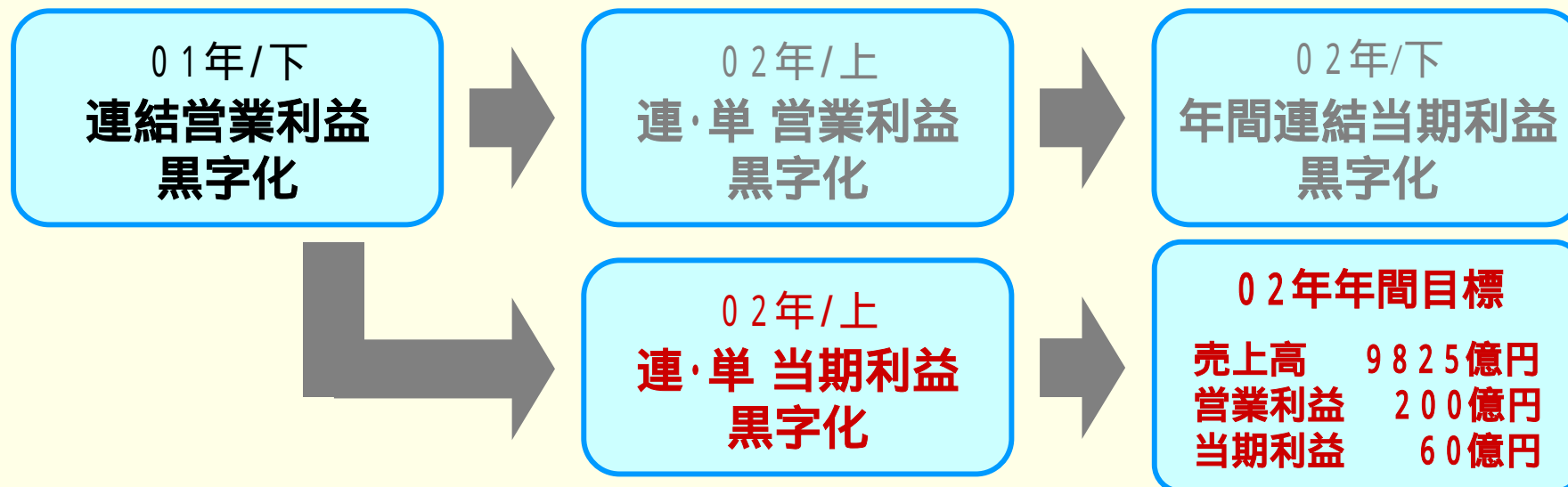


2002年度の目標



上期に連結・単独とも当期利益黒字化の目標を達成

経営体質の徹底強化

継続的事業構造改革の推進

ペイライン引き下げによる体質強化

限界利益率と生産性の向上

成長戦略の加速

重点事業の強化

高精細ディスプレイ
ネットワーク対応AVシステム
デジタルHDストレージ
部品事業
ソフト・メディア事業

経営体質の徹底強化 事業の選択と集中

02年度の重点推進項目

02年上期における進捗状況

民生用 機器事業

最適地開生販を実現するグローバル体制
雇用構造改革による固定費削減
国内販売体制の強化
横須賀工場のものづくり総本山化
によるものづくり強化

推進中
早期退職実施により完了
上期国内販売 前年比二桁伸長
ものづくり機能(生産技術・購買・品保等)
の横須賀集結を推進中

産業用 機器事業

生産拠点の海外シフトを加速
(海外生産比率40%)
事業構造改革によりドメインを集約
機種数を1700→1100に削減し、
01～02年度で機種数を半減

02年上期 海外生産比率 38%
セキュリティ・プレゼンテーション・ネットワーク・ソリューション
にドメインを集約
02年上期末機種数 1509 機種

デバイス 事業

光PU、モーター事業拡大
グローバル拠点政策による開生販最適化
雇用構造改革による固定費削減
磁気ヘッド事業撤退、
水晶デバイス事業見直し縮小

上期売上前年比 モーター113% 光PU104%
推進中
早期退職実施により完了
磁気ヘッド事業撤退、
水晶デバイス事業撤退と郡山工場閉鎖推進

ソフト・メディア 事業

米国ディスク工場を2→1拠点に統合
メディア事業雇用構造改革を実施
映画・ゲーム事業抜本的見直し
音楽をコア事業とし、収益力強化

サクラメント工場稼働停止、米国1拠点に統合
早期退職実施により完了
映画制作投資・配給撤退、ゲーム事業集約
推進中

経営体質の徹底強化 ペイラインの引き下げ

02年度単独ペイライン5000億円体質への挑戦

全社構造改革の完遂

事業・拠点 の再編	磁気ヘッド事業、水晶デバイス事業撤退 映画制作投資・配給撤退、ゲーム事業集約 米国ディスク生産拠点統合	➡	上期に完了
雇用構造 改革	グローバル競争力強化のための 国内雇用構造改革 (02年度末8200名体制へ)	➡	上期に完了

経営体質の徹底強化を目指し、今後も不断の改革を実行

経営基盤の再確立

在庫圧縮	SCM体制構築により、 グループ在庫30日以内を目指す (03/3 連結棚卸資産 38日)	➡	上期末実績47日 (計画48日/計画比▲1日)
購買 コストダウン	02年度購買・設計VEコストダウン20%の実現	➡	計画を上回り推進中 (購買上期実績196億/計画160億)
ものづくり 改革	6ヶ月ものづくりの実践 国内工場を強化・ものづくり総本山として明確化	➡	横須賀工場のものづくり総本山化と ものづくり機能横須賀集結を推進

経営体質の徹底強化 雇用構造と人員計画

